



二葉幼稚園

2022年 園のたより 12月



12月の聖句

さあ ベツレヘムへ いこう

ルカ2章15節

12月のさんびか

かみさまのおやくそく

ようじさんびか27

喜びあふれて

ふたば会の主催するふたばっこ秋祭り、親子学級の数々の催し、誕生日感謝礼拝準備も恵みの内に順調に進んで参りました。ふたば会幹事の皆様とも「やっとここまでできましたね。」「振り返ればあっという間でしたね。」と談笑する日々。知恵と思い、力の結集に感謝です。

さて、アドベントに入りました。今年もクリスマスの意味を子ども達と一緒に考え、どんな風にイエスさまの誕生を喜び、聖誕劇を皆で創り上げるのか楽しみです。ご家族に見て頂くのは当日のみになりますが、聖書のお話を聴き、絵本を読み、イメージを膨らませながら子ども達の心にクリスマスの喜びが溢れていく、その過程を大切に分かち合っていきたいです。

子ども達は一つ一つを何度か経験して「〇〇はこういうことか」「～したらこうなるのか」と理解していきます。だからこそ、振り返りや追体験を大切にしています。保育は行事ごとにぶつ切りではなく、様々な体験の積み重ね。10月に実施したふたばっこフェスタも、当日は緊張や恥ずかしさから心が硬くなっていた子ども達が、当日を終え、日常に戻った時に同じ曲をかけて愉快地踊る姿、学年を超えた外遊びでパラバルーンを嬉々として楽しむ姿、自発的に友達とかけっこやリレーに精を出す姿がありました。コロナ以前は、全競技や演目を何度か見合いっこをしていました。年中長は年少の時、大好きな先生にぐるぐる抱っこ等をして貰い触れ合ったこと、年中ではリズム表現で難しい隊形移動に挑戦して達成感や自信が湧いたこと、トラック一周を走り勝負心が芽生えた?こと、等今までの歩みを振り返る……。年少中は、次なる学年の姿に素直に歓声を上げ、憧れを抱き、育ちの見通しを持つ……。

そこで11月にフェスタごっこを実施。年少さんは全員走り、リズムでは友達同志、お手製の望遠鏡で覗きっこしたり、笑いあったり……。屈託なき笑顔、リラックスして楽しむ姿に改めて追体験の大切さを感じました。次は年中のかけっこ。あるチームが3人で駆け出すとコーナーで足がもつれて☆君が転倒! ☆君は倒れたまま泣いていました。☆君は☆君を気にしながらそのまま走ってゴール!とところがそのあと☆君に駆け寄り「☆君ごめんね」と言って手を差し出した☆君。☆君は涙を拭いてニコリと笑い、二人は手を繋いでニコニコと1周回りました。二人の清々しい姿に拍手が沸きました。そのあと3人ずつ数チームが走り、最後は皆の前で走ることが恥ずかしいのか、競争が苦手なのか「走らない」と宣言していた♠君が自分の力でスタートラインに立ったのです。「♠君、自分で立てたよ!行ってごらん!きつと行けるよ!」皆が固唾をのんで祈りを込め見守ります……。その時!どこからともなくス〜っと☆君が現れ、♠君に手を差し出し……。♠君は☆君の手を握り、二人はゆっくりトラックを歩き始めました。♠君は一步出せば立ち止まるような、☆君の思いや皆の応援、自分の勇気を噛みしめるような足取り。その♠君をニコニコと柔らかな表情で包み込み寄り添う☆君……。先生達は堪えきれず涙々……。☆君から☆君へ、☆君から♠君への優しさ、愛情の連鎖が、子ども達の素直な姿そのものが、そこに集う皆を温かく包み込み、新たな愛情エネルギーを生み出したのです。そのあと「次は走れるかもしれない」と♠君。「隣人を自分のように愛する」素晴らしい子ども達。園では毎日、葛藤も感動も生まれます。

この日は年長でもグッと成長を感じる姿が見られました。その体験を経て先日の遠足では、昆陽池まで1時間歩き続けても「まだ歩ける!」と友達同士で意気込む姿、1時間歩いたとは思えない程の躍動的な現地体育遊びに「楽しい」を連発、その後の鬼ごっこに帰り道の足取り等、喜び溢れる逞しい姿が誇らしく、私達が元気づけられました。一方で戦火の中、クリスマスを迎えるご家族をも思います。今後も平和を強く願い、祈り続けていきましょう。【園長】